

2014年 長野県 英語 問4

本テキストは、英語長文をスムーズに読み取ることを目的とし、**英文を、単語(熟語)の意味だけで文の頭から理解していく**という方法を示したものです(初めての方は、無料DL図書館の「**スラスラ流**」**長文読解-入門編**を先にお読みください)。

以下、本文を読む前の注意事項です。

- 英文中の**主語・動詞を強く意識すること**(**主語**は **S**、**動詞**は **V** で目立たせてあります)。
- 文中の**接続詞(関係代名詞も)に注目すること**(接続詞・関係代名詞は、□で囲んであります)。接続詞によってつながれた2つの文が…
 - ・対等な関係なら、**S**と**V**が2組
 - ・一方がメインで他方がオマケ(メインに含まれる)なら、メインの方は**S**と**V**、オマケの方は**s**と**v**となっています。
- 必要最小限の文法事項として
 - ★ **現在分詞** …… 動詞に～ingを付けたもの。進行形(**be 動詞**+**現在分詞**)と、**後置修飾**(**現在分詞**が直前の名詞を修飾する)で用います。どちらも、「～**している(～しつつある)状態**」として、形容詞扱いしています。
 - ★ **過去分詞** …… **受動態**(**be 動詞**+**過去分詞**)と、**後置修飾**(**過去分詞**が直前の名詞を修飾する)では、「～**され(て)いる状態**」として、形容詞扱い。
現在完了(**have, has**+**過去分詞**)では「～**した(という)事実**」と名詞のように扱っています。

※ 現在完了では、have(has)と過去分詞をセットにして**継続・完了・経験**と

訳し分けるのが普通ですが、「**～したという事実を(大事に)持っている**」で統一してあります。下にセットでの意味も載せてあります。

★ **不定詞** …… **to+動詞の原形**。ふつうはセットで意味を使い分けませんが、to は、**時の流れを表す「→(矢印)」**。「to ~」で「これから～する」というのが不定詞本来の姿です。
不定詞を用いた文では、**文中の動詞の動作が先に、動詞の原形による動作が後から起こります**。慣れるまで分かりにくいかもしれませんが、これによって**3つの意味・用法に訳し分ける必要がなくなります**(現在完了同様、セットでの意味も載せてあります)。

★ **動名詞** …… 動詞に～ing を付けたもの。**現在分詞と同じ形**なので、注意して区別できるようにしましょう。意味は、「**～すること**」です。

○ その他

・ 熟語と2語以上をセットにした方が意味がとらえやすいものは、**＝** や **└┘** で「かたまり」にしてあります。

・ 疑問文、否定文等は、**└ と ┘** でくくってあります。

では、3 ページからが本文。文章として読みやすくするため、並べかえ・カッコ抜き等の問題を解き切った状態にしてあります。

それら以外の問題は省略しちゃいましたので、特に**長野県の受験生諸君は**、過去問集で問題も解いてみてくださいね。**内容がスムーズに読み取れば、ほぼ全問正解が可能です！！**

in the newspaper. **S** **V**
It **made** her heart warm
 ~の中に その 新聞。 **それは** **~に作った** 彼女の 心を 暖かい状態に。
 ⇒ 彼女の心を暖かくした

“Yes. **S** **V** **S** **V**
Santa Claus **is** real. **Nobody** **sees**
 「はい。 **サンタ クロースは** **いる** 本当に。 **誰もいない者が** **目にする**
 ⇒ 誰も目にしない

接続詞 **S** **V** 接続詞 **s** **v**
Santa Claus, **but** **that** **doesn't mean** **he is not**
 サンタ クロースを, しかし **そ(あれは)** **~しない 意味する** ↑ **彼が** **いない**
 「 **意味しない** 」 接続詞の that が省略されている

S 「最上級」
 real. **Some** of the **most precious** things in the
 本当に。 **いくつかは** ~の (その) 最も(多く) 貴重な 事たち ~の中で (その)

「受動態」
V 過去分詞
 world cannot **be seen** with our own
 世界 できない **です** **目にされる状態** ~といっしょに 私たちの 自分自身の
 ⇒ 見られる ⇒ ~で

S **V** 接続詞 **v**
 eyes. **For example** **you** can **say** **that** there **is**
 目たち。 ~のために 例 **あなたは** ことができる **言う** 意味なし そこに **ある**
 例え

s **s** **s** **S**
 love, kindness and support in this world. So **you**
 愛が, 親切が そして 支えが ~の中に この 世界。 だから **あなたは**

can also **say** **that** **Santa** **is** real! The **world**
 ことができる もまた **言う** 意味なし **サンタは** **いる** 本当に! その **世界は**

has these precious things **and** **they** **make** our
持っている これらの 貴重な 物たちを **そして** **それらは** **つくる** 私たちの

life happy and beautiful. This **world** **needs**
 生活を 幸せな状態 **そして** 美しい状態。 この **世界は** **必要とする**

⇒ 私たちの生活を幸せな状態にそして美しい状態に作り上げる

children **who** can **believe** in something. Like
関係代名詞 s v
 子供たちを (その人は) ことができる **信じる** ~中に 何かあるもの。 ~のように
 ⇒ ~の存在を信じる

you.”
 あなた(たち)。」

She **was** glad. **Newspaper** **companies** **are** always
彼女は **だった** うれしい。 **新聞** **会社たちは** **です** いつも

busy. But this **newspaper** **didn't** **forget** the question
 忙しい。 しかし この **新聞は** ~しなかった **忘れる** その 質問を
 ┌ **忘れなかった** ─

from the small child. The **company** **put** it in
 ~からの その 小さい 子ども。 その **会社は** **置いた** それを ~の中に
 ⇒ 載せた

接続詞 **S** **V** 不定詞
because **one** of the writers **wanted** **to tell** her this
 ~だから 1人が ~の その 書き手たち 欲した → 語る 彼女に この
 語ることを

S **V**
 important thing. Some years later, the **girl** **became**
 重要な ことを。 いくつかの 年たち 後に, その **少女は** **になった**

S **V** 接続詞
 a teacher with a warm heart. **She** **hoped**
 1人の 教師 ~といっしょの 1つの 暖かい 心。 **彼女は** **希望した** ↑
 ⇒ ~を持った 接続詞の that が省略されている

S **V** **S** **V**
 all **children** **had** something **they** **could** **believe**
 ↑
 すべての 子どもたちは 持っていた 何かあるものを 彼らが ことができた 信じる

S **V** 接続詞 **S**
in. From her experience, **she** **knew** **that** **it**
 ~中に。 ~から 彼女の 経験, **彼女は** **知っていた** 意味なし **それは**

V 不定詞 (意味上の **S**)
was really important for little children **to do** so.
だった 本当に 重要な ~にとって 小さい 子どもたち → **する** そう。
することは

S **V** **S**
 This **story** **tells** us something important. **Children**
 この **話は** **語る** 私たちに 何かあるものを 重要な。 **子どもたちは**

V
have many kinds of thoughts in their minds.
持っている たくさんの 種類たちを ~の 考えたち ~中の 彼らの 心たち。

S V 接続詞 S
Adults sometimes do not understand them, **but** **they**
 成人たちは 時々 ~しない **理解する** 彼らを, しかし **それらは**
 [**理解しない**]

V
are very important for children. The newspaper
です 本当に 重要な ~にとって 子どもたち。 その 新聞

S V 不定詞
writer **took** great care **to understand** the girl's childlike
書き手は **取った** すごい 注意を → **理解する** その 少女の 子どもらしい
 ⇒ すごく注意を払った **理解するために**

S V
 thought. The same **thing** also **happened** in Japan.
 考え。 その 同じ **事が** もまた **起こった** ~中で 日本。

S V
 About 60 years ago in Japan, a little **girl** **wanted**
 だいたい 60 年たち 前に ~中で 日本, 1人の 小さい **少女は** **欲した**

不定詞 S V
to know about Santa Claus. **She** **was** a first-year
 → **知る** ~について サンタ クロース。 **彼女は** **だった** 1人の 1学年の
知ることを

S V
elementary school student. **She** **asked** her teacher about
小学校 生徒。 **彼女は** **たずねた** 彼女の 教師に ~について

接続詞 V S V 接続詞 s v
 it **and** then **said**, “ **I** **believe** **that** **Santa** **is** real.”
 それ そして それから **言った**, 「**私は** **信じる** 意味なし **サンタは** **いる** 本当に。」

At first the **S** teacher **V** was not able **不定詞** to tell anything.
 ~に 最初 その 教師は **ではなかった** 可能な状態 → 語る 何も。
ことができなかつた

But **S** he **V** felt **接続詞** that **s** he must **v** give her a
 しかし 彼は 感じた 意味なし 彼は しなければならない 与える 彼女に 1つの

good answer. **S** He **V** thought hard **接続詞** and **V** said, **S** “I
 よい 答えを。 彼は 考えた 一生懸命に そして、 言った、 「私は

現在完了
V **過去分詞**
have believed in Santa for a long time.”
持っている **信じたという事実を** ~の中に サンタ ~の間 1つの 長い 時間。」
 「ずっと信じている」

The **S** girl **V** smiled, **接続詞** but **S** some of the other students
 その 少女は 微笑んだ、 しかし いく人かは ~の その 他の 生徒たち

around him **V** did not agree with his answer. So
 ~のまわりの 彼 ~しなかつた **同意する** ~といっしょに 彼の 答え。 だから
 「同意しなかつた」

the **S** teacher **V** did something for all of his students.
 その 教師は した 何かあることを ~のために 全て ~の 彼の 生徒たち。

On the morning of December 25, the **girl** **found**
～(の上)に その 朝 ～の 12月 25日, その **少女は** **見つけた**

a paper bag at her house. All the **students**
1つの 紙 かばん ～で 彼女の 家。 すべての その **生徒たちは**

in her class also **found** a bag. Each **bag**
～の中の 彼女の クラス もまた **見つけた** 1つの かばんを。 おのおのの **かばんは**

had a ruler and a red and blue pencil inside.
持っていた 1つの 定規を そして 1つの 赤い そして 青い 鉛筆 内部に。

There **was** also a **note**. **It** **said**, “ **I** **am** in
そこに **あった** もまた 1つの **覚え書きが**。 **それは** **言った**, 「**私は** **いる** ～の中に
⇒ 短い手紙 ⇒ 書いてあった

your heart. Santa.”
あなたの 心。 サンタ。」

おしまい